

いいねが詰まってるまち、いづか



## 飯塚市企業版ふるさと納税 活用事業一覧

飯塚市 経済部 特産品振興・ふるさと応援課

〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号

TEL 0948-22-5500 FAX 0948-22-5526

MAIL [tokusanhin-f@city.iizuka.lg.jp](mailto:tokusanhin-f@city.iizuka.lg.jp) URL <https://www.city.iizuka.lg.jp/sogo/kigyouban.html>

## 基本目標Ⅰ 「地域を元気にする仕事づくり」

- ・ 先端情報技術開発支援事業費 . . . P 4  
ブロックチェーン技術による産業競争力の強化～先端情報技術による新たな産業の創出～
- ・ スマートアプリコンテスト事業 . . . P 5  
「IT技術者が集まる飯塚」の発信～
- ・ 地元ブランド化推進事業 . . . P 6  
飯塚市の魅力あるブランドを発掘していきます！
- ・ 筑前茜染活用事業 . . . P 7  
筑前茜染の復活を目指します！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」

- ・ 小中学校外国語教育推進事業 . . . P 8  
世界へ羽ばたく子どもたちを育てるために！
- ・ 教育用情報機器管理事業 . . . P 9  
子どもたちに快適なICT環境を！
- ・ プログラミング教育推進事業 . . . P10  
人型ロボットと一緒に成長していく子どもたちのために！
- ・ 本物・未来志向の人材育成事業 . . . P11  
「本物」と出会い、「未来」を創造していく子どもたちのために！
- ・ 経済体験学習事業、生活設計体験学習事業 . . . P12  
子どもたちの夢・未来を育む体験型キャリア教育事業
- ・ 小中学校ICT教育推進事業 . . . P13  
子どもたち1人1人に「個別最適な学び」を実現するために！
- ・ 未来の地域人材応援事業 . . . P14  
未来の地域人材を応援します！
- ・ ヤングケアラー支援事業 . . . P15  
ヤングケアラー相談窓口を開設しました！
- ・ 支援対象児童等見守り強化事業 . . . P16  
子どもの見守りを強化します！
- ・ 子どもの居場所づくり支援事業 . . . P17  
「子どもの居場所づくり」を一緒に行いましょう！
- ・ 産前・産後生活支援事業 . . . P18  
子育て世帯のサポートをします！（産前・産後支援）
- ・ 姉妹都市交流事業 . . . P19  
姉妹都市交流10周年記念事業～交流10周年を迎えました～
- ・ グローバル人材育成研修事業 . . . P20  
グローバル人材育成研修事業～目指せ！ワールドクラスIizukan～
- ・ 外国人材雇用支援事業 . . . P21  
外国人が活躍できるまちづくりにご協力ください

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくりの実現」

- ・ **低出生体重児健診事業** . . . P22  
小さく生まれたお子さんの検診を総合病院とコラボ実施しています！
- ・ **婚活支援事業** . . . P23  
いいづか出会いサポートセンターJUNOALL
- ・ **子ども図書館整備事業** . . . P24  
～本との出会いと新たな発見がある子ども図書館を目指して～
- ・ **協働のまちづくり応援事業** . . . P25  
協働のまちづくり「チャレンジing」応援事業
- ・ **まちづくり協議会活動推進事業** . . . P26  
飯塚市まちづくり協議会活動推進事業（新しいまちづくりに向けて）
- ・ **ヘルスケアプロジェクト事業** . . . P27  
いいづか健幸ポイント～誰でも 気軽に 楽しめる！広げよう「健幸」の輪！～
- ・ **飯塚新人音楽コンクール運営事業** . . . P28  
～市民組織が支え育てる新人演奏家の登竜門～
- ・ **文化会館改修事業** . . . P29  
～未来へつなごう文化のバトン これからも地域文化の拠点であり続けるために～
- ・ **デジタルミュージアム整備事業** . . . P30  
～子へ孫へつなごう！ふるさとの歴史・文化～
- ・ **旧伊藤伝右衛門邸保存整備事業** . . . P31  
～大切に保存しよう ふるさとの歴史遺産～
- ・ **嘉穂劇場保存整備事業** . . . P32  
『嘉穂劇場』の再興を応援してください。
- ・ **デジタルデバイド対策事業** . . . P33  
誰もがデジタル化の恩恵を受けられる飯塚市へ！デジタルデバイド対策事業への応援をお願いします！
- ・ **グラウンドゴルフ場整備事業** . . . P34  
世代を問わず楽しめるグラウンドゴルフ場を！
- ・ **住宅取得移住奨励事業** . . . P35  
福岡に移住するなら飯塚移住計画！筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度
- ・ **移住支援事業** . . . P36  
移住するなら、飯塚市へ！

# ブロックチェーン技術による産業競争力の強化 ～先端情報技術による新たな産業の創出～

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	先端情報技術開発支援事業費
事業費	17,658,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

本市の強みである、市内2つの理工系大学及び優れた技術を有するIT企業を地域デジタル化に活用し、ITによる豊かな暮らしの実現を図るため、先端かつ要素となる情報技術であるブロックチェーン技術に特化した産学官の連携強化による同技術を活用した人材育成、事業の実証、情報発信を進めることで、関連IT企業、技術者集積による新たな産業を創出します。

### 《取組プロジェクト》

- ・先端情報技術開発支援補助金 ※ブロックチェーン技術及びその技術を構成する技術を活用した研究開発を支援  
募集：4月5日～5月19日 審査会：6月1日（WEBページ等で公表）
- ・先端情報技術実証実験サポート事業 ※ブロックチェーン技術及びその要素技術を活用した実証実験を全国から募集し、支援します。
- ・福岡県との合同によるブロックチェーン技術研修会の開催  
時期は未定（令和4年度実績 計16回 学生37名、社会人39名参加）



**福岡県飯塚市**

**飯塚市先端情報技術  
実証実験サポート事業**

**募集**  
まずはご申請ください！

福岡市では、社会や地域の課題解決、豊かで便利な市民生活の実現に向け、ブロックチェーン技術を活用した企業集積、市内産業の高度化、移住産業化を目指しています。その取組の一つとして、本市をフィールドとするブロックチェーン技術等(※)を活用した実証実験プロジェクトを全国から公募します。  
※ブロックチェーン技術等・・・ブロックチェーン技術及びその技術を構成する技術とします。

事前相談期間	令和5年5月1日(月)～令和5年6月23日(金) 午前9時30分から午後5時15分まで	※必ず事前に ご相談ください。
募集期間	令和5年6月1日(木)～令和5年6月30日(金) 午前9時30分から午後5時15分まで	
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実証対象事業の実施に必要な市が保有する施設、設備等の提供に係る制度</li> <li>● 実証対象事業に係る実証実験への参加費の減免に関する支援</li> <li>● 実証対象事業の実施に係る地元大学との技術的支援、その他協力に関する調査</li> <li>● 広域圏、福岡県ホームページ等を活用して行う実証対象事業に係る情報発信</li> <li>● 上限100万円の経費支援（補助率1/2以内）</li> <li>● その他ほか、申請が必要と認められる支援</li> </ul>	

### 《特徴その1 県と連携したブロックチェーンビジネスの開発支援》

ブロックチェーン技術者は先端成長産業としての期待はされていますが、ビジネスモデルの確立は途上にあります。また、本技術は基盤技術であり、様々な分野への応用が見込まれるため、補助金交付により、多様な事業開発を支援しています。

福岡県と併せて補助金を申請することができるようにしており、ブロックチェーン技術を活用した研究開発がより取り組み易くなっています。

### 《特徴その2 ブロックチェーン技術の社会実装に向けた取組を支援》

飯塚発となるプロジェクトを全国から募集し、研究開発のその先にある実証実験を支援することで社会実装につながるお手伝いをしています。

### 《特徴その3 優れた技術者の育成》

ブロックチェーン技術者は先端成長産業であるが故に全国的に技術革新を担う人材が不足しています。ブロックチェーン技術研修会を福岡県と共催で開催し、県内での技術者育成を実現するとともに、伴走型の研修サポート体制によりビジネスプランを作成するなど、研修プログラムの充実を図っています。

また、市内2つの理工系大学生も研修に多数参加をしており、ブロックチェーン技術者や地元企業との交流が促され、更には起業家精神も醸成されています。

# スマートアプリコンテスト事業 ～「IT技術者が集まる飯塚」の発信～

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	スマートアプリコンテスト事業
事業費	1,688,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

全国を対象に、日常生活やビジネスなど様々な場面で利用されるスマートアプリの開発を対象としたコンテストを実施することにより、アプリ開発を行うエンジニア・学生・IT企業との交流の場を創出し、優れた技術者の発掘と育成、自由でクリエイティブなアプリ開発の推進、更には「IT技術者が集まる飯塚」を発信しています。

### 《取組プロジェクト》

- ・募集時期 7月頃～9月頃（WEBページ等で公表）
  - ・最終審査 11月頃
  - ・表彰内容
    - ◇グランプリ 1点（賞金30万円）
    - ◇飯塚市長賞 1点（副賞は後日WEBページ等で発表）
    - ◇協賛企業賞 各1点（副賞は後日WEBページ等で発表）
- 【令和4年度応募実績 82件 全国から募集(個人、グループ不問)】



### 《特徴その1 優れた技術者の発掘と育成》

市内に理工系大学、研究施設、産業支援機関等が集積するポテンシャルを活かし、市場規模の拡大が続くスマートアプリの開発を対象としたコンテストを開催しています。

近年のグランプリには市内大学生チームも受賞しており、起業を目指すなか、本市も副賞として市内創業支援施設の1年無料貸出を行い起業の後押しをしています。

### 《特徴その2 著名な審査員と協賛企業による後援》

コンテストの審査員として、著名なIT業界及びIT関連メディアの方を招聘することで、技術者の発掘と育成、クリエイティブなアプリ開発の推進につながっており、参加者からも好評で、応募数は毎年増加しています。

また、協賛企業による協賛賞は、参加者の創作モチベーションをさらに向上し、企業との交流の場づくりとなっています。

### 《特徴その3 産学官交流の場の創出》

参加団体をはじめ、本市、IT業界及びメディア関係者が繋がりを持つことができ、本コンテストは貴重な交流の場ともなっています。

# 飯塚市の魅力あるブランドを 発掘していきます！

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	地元ブランド化推進事業
総事業費	20,746,000円(令和5年度)

### 《事業概要》

市内にはまだ認知度の低い知られざる特産品があることから、定期的に市内企業等を訪問し、特産品となりうる製品の掘起しを行うとともに、福岡県物産振興会や大手百貨店で催事を含む販売ルート構築を進めることで、いづかブランドを確立し、広く周知啓発を行うことによって、市内企業だけでなく、本市のイメージアップを図る。また、ふるさと納税の返礼品における市内産品の割合を高めたいけるよう、ブランド認定製品の反映や特産品のブラッシュアップを行える制度を制定する。

### 《取組プロジェクト》

- いづかブランド認定制度の実施
- いづかブランド認定製品支援補助金の実施
- その他、特産品振興に係る販路開拓及びPR活動



### 《特徴その1 飯塚市開発の特産品販路開拓》

販路開拓並びに販売促進について取り組みを行い、飯塚市のお土産などに使っていただけるような事業を展開する。

### 《特徴その2 市内商品の発掘及びブランド力の向上》

飯塚市の事業者が加工・販売している特産品となりうる製品の掘り起こしを行うとともに、イヅカブランドとしての付加価値をつけ、福岡県物産振興会や大手百貨店で催事など販売ルート構築を進め、ブランド力の向上を図る。

### 《特徴その3 ふるさと納税の返礼品へのバックアップ》

市内事業者の売上向上やふるさと納税の条件に沿った支援を行うため、製品の製造や加工に係る機械の導入や委託する場合の経費補助を行うなど、できるだけ市内での生産・加工・販売ができる製品を増やしていけるように支援していく。

# 筑前茜染の復活を目指します！

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	筑前茜染活用事業
総事業費	28,200,000円(令和5年度) (15,679,000円)

### 《事業概要》

「日の丸」を日本で初めて染めたといわれている筑前茜染を地域住民をはじめ小中学生に知ってもらうため、筑前茜染の歴史や文化としての筑前茜染の勉強会を実施しています。茜草の育成や染物技術等の知識習得や草木染による染物体験を行うとともに、商品開発等に係る情報収集を実施して、筑前茜染を活用したパイロット製品を作成しながら事業の啓発を図ります。茜色をイメージカラーとして飯塚市茜統一ブランドの位置づけを徐々に浸透させていくことを目指します。

### 《取組プロジェクト》

- 茜草の育成・植付体験による栽培活動及び染物体験活動
- 筑前茜染に関する歴史・文化の継承
- 筑前茜染製品の開発



### 《特徴その1 筑前茜染の復活》

「日の丸」を日本で初めて染めたといわれている筑前茜染が後継者不足により、染物技術や存在が危ぶまれている中、飯塚市全体で筑前茜染の復活を目指し取り組みを始めました。

### 《特徴その2 飯塚市特産品・ブランドとしての醸成》

茜色を本市のイメージカラーとして統一ブランドの位置づけができるように、茜草の大量生産や製品の開発に取り組みつつ、小中学生を中心に茜染の歴史や製法などの伝承を行い、ブランド化としての醸成を図っています。

### 《特徴その3 飯塚市筑前茜染協議会としての活動》

筑前茜染の復活やブランド化の確立を目指すことを目的に飯塚市筑前茜染協議会を設立しました。継続した事業となるよう市内の有識者や民間企業、観光協会などが一体となって取り組んでいます。また、各部会ごとに役割を担った上で、多角的な視点から目的の達成のために努めています。

# 世界へはばたく子どもたちを育てるために！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	小中学校外国語教育推進事業
総事業費	74,755,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

小学校3,4年生に、ALTを派遣し外国語に慣れ親しむ活動を通して、高学年の外国語科学習へスムーズな接続を図っています。

平成28年度から小学校6年生を対象に、平成30年度からは5,6年生を対象にオンライン英会話を実施し、オンラインによるネイティブ講師とのマンツーマンの英会話レッスンを実施しています。

中学校へは外国人講師を派遣し、外国語でコミュニケーションを図る力を育成しています。

### 《取組プロジェクト》

- ・オンライン英会話研修会の実施（教職員研修）
- ・オンライン英会話レッスンの実施
- ・ALTの派遣



### 《特徴その1 外国語でコミュニケーションを図る基礎的な力の育成》

・オンラインによるマンツーマンの英会話レッスン等を取り入れた授業を通して、聞く・話すを中心とした**英語のコミュニケーションを図る基礎となる力を育成**しています。（5,6年生）

・外国語活動に外国人講師等を派遣し、外国語による聞くこと、話すことの活動を通して、**児童のコミュニケーション能力の素地を育成**しています。（3,4年生）

・外国語の授業に外国人講師を派遣し、**外国語によるコミュニケーション能力や主体的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成**を図っています。（中学校）



# 子どもたちに快適なICT環境を！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	教育用情報機器管理費事業
総事業費	31,574,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

児童生徒の情報活用能力の育成、並びに意欲的で深まる授業を実現することにより、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成を図るために整備した教育用情報機器(タブレットパソコン、電子黒板等、ソフトウェア等)の管理・運用を行っています。

### 《取組プロジェクト》

- ・1人1台の児童生徒用パソコンの管理・運用
- ・1教室1台の電子黒板の維持管理
- ・学習支援ソフト等、学習への理解を深めるためのソフトウェアの導入



### 《特徴その1 1人1台パソコンによる「基礎スキル」の向上》

子どもたちへ整備した1人1台のパソコンを、支障なく授業で活用できるよう適切に管理・運用することで、パソコンを用いた授業を当たり前にし、**未来の飯塚市を担う子どもたちのICTの活用能力や課題を解決できる「基礎スキル」の向上**を図っていきます。

### 《特徴その2 “場所”、“教科”を問わず学習意欲を高める》

電子黒板を利用することで、従来の板書と比べ、子どもたちの学習意欲や理解力を高める効果が期待されます。

電子黒板の利用に支障がないよう維持管理を行い、**“場所”や“教科”を問わず、学習意欲や理解力の向上につながる環境整備**に取り組んでいます。

### 《特徴その3 学習支援ソフト等の導入によるICT教育の充実》

学習効果を高める授業が実施できるよう、学習支援ソフト等を導入し、**思考力・判断力・表現力の育成とICT教育の充実**に取り組んでいます。



# 人型ロボットと一緒に成長していく 子どもたちのために！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	プログラミング教育推進事業
総事業費	9,157,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

全小中学校で確実にプログラミング学習が実施できるようにするために、ソフトバンクグループ(株)と締結した教育事業連携協定の事業を活用して、全小中学校に人型ロボットを配備し、プログラミング教育を実施し、その成果を広げるプログラミングコンテストを開催しています。

また、学習指導要領に例示されている単元でのプログラミング学習の充実を図るため、プログラミング学習教材の整備を行っています。

### 《取組プロジェクト》

- ・教職員を対象としたプログラミング研修会の実施
- ・夏季休業中の小学生向けプログラミング講座の開催
- ・飯塚市プログラミングコンテストの開催



### 《特徴その1 教職員の学びを子どもたちの能力向上に》

研修会を通して教職員が人型ロボットで何ができるのか、どのように活用することができるのかということ学び、子どもたちへの指導に活かすことで**プログラミングへの意欲や基礎スキルの向上**を図っていきます。

### 《特徴その2 難易度の高い課題でレベルアップを》

プログラミングに興味のある子どもたちを集めて、難易度の高いプログラミングにチャレンジさせることで、**プログラミング能力のレベルアップ**を図っていきます。



### 《特徴その3 プログラミング教育の成果を披露》

子どもたちがプログラミングした内容を人型ロボットの動きや表現を通して発表し競い合うことで、子どもたちの**追究意欲やスキル向上**を図っていきます。

# 「本物」と出会い、「未来」を創造していく 子どもたちのために！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	本物・未来志向の人材育成事業
総事業費	2,150,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

自己や社会の「未来」を前向きに創造する「生きる力」を育成するため、芸術やスポーツ、平和活動など各界で活躍している方々を指導者として招聘し、通常の学習では得られない体験活動を通して、「本物」に触れ、夢や希望をもって将来への展望を抱く子どもを育成しています。

### 《取組プロジェクト》

- ・プロサッカーチーム（ギラバッツ）のコーチによるサッカー教室（全19小学校）
- ・国際的に平和貢献活動を行っているソプラノ歌手である宮良多鶴子氏による平和コンサート



### 《特徴その1 健やかで心豊かな児童の育成》

高い指導力をもつ指導者からサッカーの直接指導を受け、運動することの楽しさや、仲間とともに協力して活動する良さを体験を通して実感するとともに、講演から自分の力を信じて努力を続ける大切さについて学んでいます。

### 《特徴その2 本物の芸術に触れるとともに、他人や地域のために活動する「公共の心」について学習》

東ティモールで国際的に平和貢献活動を送っているソプラノ歌手の宮良多鶴子氏のコンサートを開催し、子どもが本物の歌声に触れるとともに、平和貢献活動についての講演を通して、「公共の心」について学習しています。

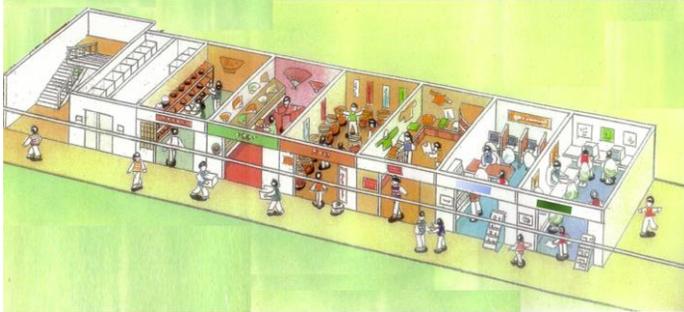


### 《特徴その3 自分の未来を切り開いていこうとする子どもの育成》

講師の先生方と直接触れ合い、講演でこれまでの体験談等を聞くことを通して、自分の将来について考え、自分の未来を切り開いていこうとする子どもを育成しています。

# 子どもたちの夢・未来を育む 体験型キャリア教育事業

## 基本目標Ⅱ 「未来を創る人づくり」



事業名	経済体験学習事業 生活設計体験学習事業
総事業費	5,739,000円（令和5年度）

※イラストは事業のイメージです。

### 《事業概要》

飯塚市がめざす子どもの姿を実現するため、「本物志向・未来志向」のキャリア教育を実施します。地域・社会、企業、学校が連携し、効果的なキャリア教育を推進していくために、社会のしくみと経済の働きを正しく理解し、自らの意思で進路選択・将来設計をするための体験ができる学習プログラムを導入します。リアルで実践的・体験的な学習活動を行うことで、学校の「学び」と「将来の仕事」や「社会生活」をつないでいきます。

### 《取組プロジェクト》

- ・経済体験学習「スチューデント・シティー」の実施  
全19小学校（5年生）
- ・生活設計体験学習「ファイナンス・パーク」の実施  
全10中学校（1年生）



### 《特徴その1 本物との出会いや体験を通じた経済教育》

全国4自治体における活動実績で高い評価を得られている、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本がライセンスを有する経済教育プログラムをキャリア教育推進のため導入します。

#### ○経済体験学習「スチューデント・シティ」

対象者：小学校5年生

再現された本物の街で、経営者と消費者の役割を交互に体験し、人と仕事、社会のかかわりを学びます。

#### ○生活設計体験学習「ファイナンス・パーク」

対象者：中学校1年生

大人の立場で生活設計・将来設計を行い、生活に必要とされるお金について学びます。

### 《特徴その2 企業、市民との協働》

協賛企業がブースを出店し、社員や市民ボランティアが児童にアドバイスをを行います。

# 子どもたち1人1人に「個別最適な学び」を実現するために！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	小中学校ICT教育推進事業
総事業費	42,751,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

各教科のねらいや個別学習・協働学習等の学習場面に応じたICTの活用により、児童生徒の情報活用能力の向上を図り、多様な子どもたち1人1人に個別最適な学びの実現を目指しています。

また、教員が子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、ICTの活用により業務の効率化を図り、教職員の働き方改革に取り組んでいます。

### 《取組プロジェクト》

- ・大型提示装置（電子黒板）やデジタルコンテンツ等、学習効果を高めるICTの活用
- ・情報モラルや情報活用能力の育成など、問題や課題を解決する力を高めるICTの活用
- ・ICTを活用した授業づくりの支援及び機器トラブル対応のためのICT研究指導員の配置
- ・教員のICT活用指導力向上のための教員研修の充実及びICTの活用による業務効率化の推進



### 《特徴その1 ICTを活用した新しい授業スタイル》

WEB会議システムを使って、学校にゲストティーチャーを招いて行う授業を、市内の他の学校とつないで合同で授業を行ったり、市外の学校とつないで、意見交換等を行ったり、**合同授業等の新しい授業スタイル**を取り入れています。これまでと違った授業に子どもたちは目をキラキラと輝かせて学習に取り組んでいます。

### 《特徴その2 協働して問題を解決しようとする児童生徒の育成》

児童生徒用パソコンやクラウド学習ツール等を使って、グループ内で複数の意見や考えを視覚的に共有し、発言が得意な児童生徒、そうでない児童生徒もみんな協力して学習課題の解決に取り組み、**思考力・判断力・表現力を育成**しています。



### 《特徴その3 ICTを活用した家庭学習》

児童生徒用パソコンを自宅に持ち帰り、授業の続きや調べ学習などの自主学習や、デジタルドリルを活用して学校からの課題に取り組む等、**子どもたちそれぞれのペースにあった学習**に取り組んでいます。

# 未来の地域人財を応援します！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	未来の地域人財応援事業
総事業費	141,226,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

子育て世帯の支援及び定住化促進を目的として、飯塚市の未来を担う子どもたちへの応援金を支給するものです。

- |                |         |      |
|----------------|---------|------|
| (1) 第3子以降出産応援金 | 児童1人あたり | 10万円 |
| (2) 小学校入学応援金   | 児童1人あたり | 5万円  |
| (3) 中学校入学応援金   | 生徒1人あたり | 5万円  |

### 《取組プロジェクト》

赤ちゃんすくすく元気訪問で対象者に申請をご案内しています。

小中学校入学時に対象となる児童・生徒の養育者の方に申請用紙を郵送して通知しています。



### 《特徴その1 第3子以降出産応援金》

本市に住民票の登録があり、第3子以降の児童及び出産した児童以外に2人以上の生計を同じくする兄弟を養育している方に応援金10万円を支給し、子育てを応援します。

### 《特徴その2 小中学校入学応援金》

4月30日を基準に、引き続き本市に住民票の登録があり、以下の児童や生徒を養育している方に5万円を支給し、入学時の負担を軽減し、子育てを応援します。

- ・小学校に1年生として入学した児童
- ・中学校に1年生として入学した生徒
- ・義務教育学校に7年生として進級した生徒



# ヤングケアラー相談窓口を開設しました！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」

### ヤングケアラー

※責任や負担の重さにより、学業・就業・人間関係等に様々な悪影響を及ぼす



事業名

ヤングケアラー支援事業

総事業費

1,850,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

本事業は、ヤングケアラー（当人に自覚がなく、また自覚があっても相談相手がないことが多く、ケアにより割かれる学習時間や自由時間、また孤独やストレスが心身に与える影響等により、学業・就業・人間関係等に様々な悪影響を及ぼす可能性がある。）相談窓口を開設し、ヤングケアラーの発見と支援を継続的に行っていく事業です。

### 《取組プロジェクト》

・ヤングケアラー相談窓口の開設

ヤングケアラーを発見し、孤立防止と必要な支援を実施することを目的に以下を実施する。

- ①学校とのコミュニケーションを重ね、ヤングケアラーの可能性のある子どもを発見できる仕組みを構築。
- ②相談窓口により発見した子どもの援助方針を検討。
- ③ヘルパー派遣を派遣。※予定

・ヤングケアラーについての研修等を実施

### 《特徴その1 ヤングケアラー相談窓口の開設》

ヤングケアラーの早期発見と必要な支援に繋げるための体制を構築します。

- ①情報提供と相談体制の整備
- ②孤立の防止
- ③早期発見と早期支援のための多機関連携

### 《特徴その2 ヘルパー派遣(委託)》※予定

ヤングケアラーがいる世帯に支援員が訪問し、家事・育児等の支援を実施することにより、ヤングケアラーの日常生活における負担を軽減します。

### 《特徴その3 ヤングケアラーについての研修会を実施》

ヤングケアラーの支援体制を強化するため、福祉・介護・医療・教育等の関係機関（要対協構成機関も含む）及び地域住民に向けてヤングケアラーの発見や支援策に係る研修等を実施します。



# 子どもの見守りを強化します！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



主任児童委員 支援対象児童等の居宅等



事業名	飯塚市支援対象児童等見守り強化事業
総事業費	3,976,000円（令和5年度） (1,326,000円)

### 《事業概要》

本事業は主任児童委員が普段活動している見守りや状況の把握について、支援を必要とする子ども等の居宅を訪問する際に、食料品や日用品（生活必需品）等を提供することで、少しでも門戸を開放してもらい見守り等の強化につなげる事業です。

※対象児童等は、要保護児童連絡協議会の支援対象児童等として登録されている子どもだけでなく、地域社会から孤立しがちな子育て家庭や妊娠や子育てに不安を持つ家庭等の子供や妊婦も含まれます。

### 《取組プロジェクト》

補助対象経費等 補助金上限額 3千円

- ・食品・日用品の購入費など補助額2千円以内
- ・訪問に係る交通費、ガソリン代、コインパーキングの駐車場代、電話料金、データ通信料など 定額 千円

※訪問は月1回以上を想定しています。

状況の把握



食事の提供等



### 《特徴その1 早期発見》

地域の主任児童委員が持っている情報を共有することにより支援が必要な対象者を早期に把握し、関係機関と情報共有し支援します。

### 《特徴その2 訪問しやすい環境整備》

飲食物、日用品の生活必需品等を提供することで、少しでも門戸を開放してもらい、見守り等の強化につなげていきます。

# 「子どもの居場所づくり」を一緒に行いましょう！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」

### 子ども食堂・学習支援等



事業名	子どもの居場所づくり支援事業
総事業費	3,926,000円（令和5年度） (982,000円)

#### 《事業概要》

本事業は、貧困等の困難を抱える子どもを地域で見守り支援していく環境を整えるため、飯塚市内において「子どもの居場所づくり」に寄与するための子ども食堂や学習支援等を実施しようとする団体の創設支援、運営支援及び行政機関や各種関係団体との連携推進を行うものです。

#### 《取組プロジェクト》

子どもの居場所づくり(子ども食堂及び学習支援)を行おうとする団体に対し以下の事業を実施します。

- (1)開設・拡充に関する経費及び運営に関する経費を補助します。
- (2)立ち上げや運営のための情報提供・助言・相談等の支援を行うコーディネーターを配置します。



#### 《特徴その1 子ども居場所づくり支援事業補助金の創設》

子ども食堂や学習支援等を行おうとする団体に対し、開設・拡充に関する経費及び運営に関する経費を補助します。

#### 《特徴その2 交流センター等の公共施設の積極的利用促進》

子ども食堂や学習支援を行う場合は、多目的ホールや会議室、調理室等が整備されている「交流センター」の利用を推奨し、一定の条件を設定して、条件を満たした団体の利用料を減免します。

#### 《特徴その3 コーディネーター配置等(委託)》

専門知識を有するコーディネーターを配置し、開設・運営に関する情報の収集・提供、相談、研修等に対応することで、持続可能な団体運営を支援します。

# 子育て世帯のサポートをします！ (産前・産後支援)

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



### 利用期間



事業名	産前・産後生活支援事業
総事業費	805,000 円 (令和5年度)

### 《事業概要》

市内に居住する妊産婦が、つわりや貧血、息苦しいなど体調不良がみられたり、出産後は睡眠不足や育児に対する不安や疲れなどでそのような体調不良で家事や育児を行うことが難しい場合、支援員を派遣し、家事や育児のお手伝いをする事業です。

### 《取組プロジェクト》

支援内容：乳幼児の保育、児童の生活指導、食事の準備及び片付け、住居等の掃除及び整理整頓等

利用期間：産前（妊娠中）・産後で通算で12回（産後12か月まで）（1回2時間以内）

利用時間：午前8時30分から午後5時まで

土・日も可能（ただし国民の休日、8/13～15、12/29～1/3は除く）

### 《特徴その1 利用の拡大》

令和5年4月1日から、さらに事業が利用しやすくなりました！

【変更点】

利用期間「産後16週」から「産後12か月」に拡大

利用回数「産前2回、産後10回」から「産前・産後の通算で12回」に変更

### 《特徴その2 登録は無料》

本庁子育て支援課または各支所市民窓口課にて受付をしています。  
※母子健康手帳をご持参ください。登録は無料です。

利用期間（基準額）1時間あたり

利用家庭の区分	基準額(1時間あたり)	
	生活援助	子育て支援 (児童1人当たり)
生活保護受給世帯	0円	0円
市町村民税非課税世帯	150円	70円
その他の世帯	310円	150円



# 姉妹都市交流10周年記念事業 ～交流10周年を迎えました～

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	姉妹都市交流事業
総事業費	8,958,000円 (令和5年度)

### 《事業概要》

飯塚市は姉妹都市であるサニーバール市と交流を始めて今年で10周年を迎えます。

8月に飯塚市交流団としてサニーバール市での10周年記念行事に参加することで、これまで培ってきた両市の友好的な交流を総括し、共に祝うと共に、飯塚市の特産品を紹介することで今後の交流事業の継続と一層の発展に繋がります。

また、10月にサニーバール市長やサニーバール市交流団を迎え、記念行事、レセプション、いづか街道まつりへの参加により友好関係を深めると共に国際都市いづかを推進します。

### 《取組プロジェクト》

- ・飯塚市交流団のサニーバール市訪問（シリコンバレーツアー、記念行事、飯塚フェアの開催）
- ・サニーバール市交流団の受け入れ（飯塚市内観光ツアー、筑前の国いづか街道まつりへの参加）
- ・ホームステイによる国際交流の推進



### 《特徴その1 姉妹都市交流10周年》

平成25年12月に、米国カリフォルニア州のサニーバール市と友好交流関係協定を締結し、将来世代の人材育成を図ることを目的に、学校間交流を中心にお互いの関係を深めて来ました。

### 《特徴その2 飯塚フェアの開催》

姉妹都市のサニーバール市において、飯塚市の特産品を紹介することを目的とした「飯塚フェア」を開催します。飯塚の特産品や食文化等を知ってもらうことで両市の繋がりをより強固なものにします。

### 《特徴その3 両市で記念式典を開催》

8月にサニーバール市、10月に飯塚市で10周年記念行事を行います。これまでの交流を総括し、今後の交流事業の継続と発展へとつなぎます。

# グローバル人材育成研修事業 ～目指せ！ワールドクラスIizukan～

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	グローバル人材育成研修事業
総事業費	14,431,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

市内中学生及び高校生20名を姉妹都市であるアメリカ・サニーバール市に派遣し、ホームステイや現地学生との交流を通して、多文化への理解やコミュニケーション能力を向上させ、将来の飯塚市を担う人材育成を行っています。

帰国後には地域貢献として、外国人のための日本語教室や国際交流イベントの運営支援等の地域活動への積極的な参加を継続して行っています。

### 《取組プロジェクト》

【対象】市内在住の中学1年生から高校2年生まで

【内容】事前研修、アメリカでの現地研修（ホームステイ、現地学生との交流、異文化体験）、事後研修、帰国報告会を実施。多くの研修生が、継続して事後活動に参加しています。



### 《特徴その1 ホームステイ》

現地研修ではホームステイや学校登校といった身近な生活を通して、文化や価値観の多様性を体感することで、研修生は大きく成長します。英語が苦手でも、英語の環境で生活しコミュニケーションをとることで、子どもたちの自信につながっています。

### 《特徴その2 シリコンバレーツアー》

スタンフォード大学やApple、Googleといったシリコンバレーを代表する企業を見学することで、創造性を引き出すための工夫が凝らされた近未来的な世界を感じ、大きく刺激を受けます。

### 《特徴その3 外国人との交流を深める事後活動》

帰国後は、外国人と交流できるイベント（地引網）やボランティア活動（日本語教室の補助）などに参加し、継続してグローバルな人材を育成しています。



# 外国人が活躍できるまちづくりにご協力下さい

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	外国人材雇用支援事業
総事業費	2,375,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

飯塚市に住む外国人材の就業及び暮らしに対する満足感を高め、長期にわたって活躍できる環境を整備することにより、就業地として飯塚市を選択してもらうことを目的とした事業です。技能実習や特定技能の外国人材の就業環境・生活環境の整備及び地域社会との共生を促進する活動を行った際にかかる費用の一部相当額を補助金交付することで、市内企業等の労働力確保や競争力を強化するとともに、本市の定住人口増加を図ります。また、外国人受入れセミナー等を開催し、受入れ企業向けの啓発活動を行います。

### 《取組プロジェクト》

- ・飯塚市外国人材受入環境整備事業費補助金
- ・外国人受入企業講習会サテライト会場設置



### 連携協定締結式



### 《特徴その1 市内外国人の増加》

市内在住の外国籍の方は1,554人と過去最高を更新。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、これまで止まっていた技能実習生の受入れが再開されたこと、特定技能や技・人・国の増加が主な要因となっています。

### 《特徴その2 ベトナム企業と連携協定締結》

飯塚市は2022年12月にベトナムの送出し機関であるJVNET株式会社と人材受入れに関する事項や、受け入れた人材の生活支援に関する連携協定を締結しました。

# 小さく生まれたお子さんの健診を 総合病院とコラボ実施しています！

## 基本目標Ⅲ「次代を牽引する魅力あふれるまちづくりの実現」



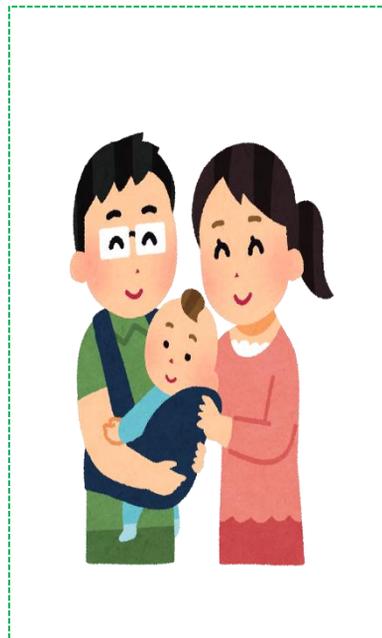
事業名	低出生体重児健診事業
総事業費	1,046,000円(令和5年度)

### 《事業概要》

飯塚市の総合（拠点）病院である飯塚病院と連携し、低出生体重児や先天性疾患のあるお子さんなどを対象に個別の乳幼児健診（4か月児健診・8か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診）を行い、継続的にフォローアップしていくことで、疾病や異常の早期発見、児の健康の保持・増進、育児不安・ストレスの軽減につなげていきます。

### 《取組プロジェクト》

- ・専門性の高いスタッフでの対応を目指す。
- ・落ち着いて健診を受診できる会場の確保。  
（感染対策・プライバシーの保持も含めた）



### 《特徴その1 出生体重2,000g未満で生まれたお子さん》

発育や発達に不安がある小さく生まれたお子さんを小児科専門指導医・小児科NICU病棟看護師・助産師など専門性の高いスタッフが対応します。

### 《特徴その2 入院中に関わってくれたスタッフが待っている》

小さく生まれるお子さんのほとんどが飯塚病院で出産し、経過をみてもらっています。出産したお母さんの一番不安な時期に寄り添ってくれていたスタッフが健診でもお待ちしております。また、今後お子さんの成長を支援していく担当保健師も待っています。

### 《特徴その3 カンガルーサロン》

小さく生まれた赤ちゃんを育てた先輩ママたちが、育児の経験をもとにお母さんたちの心配にお応えします。お子さんの成長の見通しや利用すると助かるサービスなど具体的なお話を聞くことができます。

# いづか出会いサポートセンターJUNOALL

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	婚活支援事業
総事業費	548,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

飯塚市が設置者となっている婚活支援サービスです。従来からの「イベント型」ではなく、利用者の情報をデータ化し、理想のお相手を効率よくマッチングし、お見合いのセッティングまでを行う「登録型」の婚活支援サービスを展開しています。（地方自治体が主催する例は少ないと思われます。）

### 《取組プロジェクト(サービスの流れ)》



## JUNOALL

ジュンブライドの語源とされる、結婚・出産・育児を司るローマ神話の女神「Juno」を元に、すべての人たちに幸せが訪れることを願って「JUNOALL (ジュノール)」としました。



### 《特徴その1 オンライン検索》

自宅のPCやスマホで24hお相手が検索可能  
時間を気にせず、自分のタイミングで婚活活動ができます。

### 《特徴その2 AIマッチング》

希望条件に合うお相手の検索やAIからのお相手を紹介することができます。また「価値観診断テスト」の利用により、自身の特性を知ることができるので、今後の婚活に有効活用できます。

### 《特徴その3 どなたでも安心して利用するための取り組み》

- ・入会金や利用料金は発生しません。
- ・入会時に収入確認書類・独身証明書等を提出をいただき、面談を行います。

# 子ども図書館整備事業

～本との出会いと新たな発見がある子ども図書館を目指して～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	子ども図書館整備事業
総事業費	14,180,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

子どもと保護者が安心・快適な環境で読書ができ、読書の楽しみを体験する機会の提供及び読書力と読書を通じて生きる力を育成する支援環境整備のため子ども図書館を整備します。読書の持つ「考える力」、「感じる力」、「想像する力」、「表現力」、「教養、価値観、感性」等の醸成を社会全体で推進することは極めて重要であり、子ども用の読書環境に特化した施設を目指します。

### 《取組プロジェクト》

- ・子どもと保護者に読み聞かせや紙芝居等を実施できる専用の空間
- ・男女が安心して利用できる授乳室や子ども用トイレの設置
- ・絵本や児童書、子育て関連書籍の充実



### 《特徴その1 子どもと保護者が安心して過ごせる空間》

周りの目を気にすることなく、子どもと保護者が絵本に触れ合える環境づくりに取り組みます。靴を脱いで上がれるスペースや、多少の飲食を許容するスペースを設け、小さなお子様連れでも利用しやすい図書館を目指します。

### 《特徴その2 児童書の充実》

子ども図書館には原則として、育児や子どもに関わる書籍を除き、児童書や絵本等を中心に配架します。子どもに特化した書籍を集約することで、子どもの読書活動の推進に取り組みます。

### 《特徴その3 子どもが体験したものを学べる環境》

科学を体験できるエリアや世界中の言語を知ることができるエリアを創出し、子どもの興味や関心を引き出す仕掛けを検討します。自ら興味を持ち、進んで調べ学習ができる環境づくりを目指します。



# 協働のまちづくり「チャレンジing」応援事業

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

### 協働のまちづくり応援補助金 「チャレンジing事業」



事業名	飯塚市協働のまちづくり応援事業
総事業費	6,094,000円（令和5年度）

#### 《事業概要》

協働のまちづくりの推進を進める一環として、市民活動団体及び地域活動団体が実施する、公益的かつ先駆的なまちづくり事業に要する経費について、事業費の一部を支援する制度です。市民活動の活性化及び市民自身の手による地域に密着した公共サービスの充実を図ることを目的としています。

- ※市民活動団体：NPO、ボランティア団体、その他の市民の自主的な活動により、公益の増進に寄与することを目的とした団体であって、営利を目的としないものをいいます。
- ※地域活動団体：自治会、まちづくり協議会、その他市内の一定の地域を単位とする組織であって、市民が相互に助け合うことを目的とした団体をいいます。



＜採択事例1＞  
「本物との出会いが未来を拓く」  
本物の文化・芸術鑑賞及び読書活動の体験事業



＜採択事例2＞  
アンブレラスカイinイツカ

#### 《取組プロジェクト》

以下の3つの区分に分けて補助金を交付します。

- テーマ事業・・・上限15万円（補助率3/4）  
（先駆的な事業については上限20万円）
- コミュニティ事業・・・上限15万円（補助率3/4）  
（先駆的な事業については上限20万円）
- コラボ事業・・・上限30万円（補助率3/4）

#### 《特徴その1 チャレンジing》

先駆的な新しい発想、アイデアをもって、「チャレンジing」する団体を応援しています。地域の身近なものから、市全体にいたる様々な課題について、新しい発想をもって課題解決を図る取組みについて支援しています。

#### 《特徴その2 事業区分》

事業区分を3つにわけ、テーマを絞った事業から、地域を限定した事業、別々の団体が協働して行う事業まで、幅広く支援できるよう制度設計しています。

#### 《特徴その3 審査基準と審査方法》

補助事業の採択については、公平・公正・透明な審査が行えるよう、審査基準を公表した上で、「協働のまちづくり応援補助金審査会」を設置して審査を行います。

# 飯塚市まちづくり協議会活動推進事業 (新しいまちづくりに向けて)

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

**まちづくり協議会**

市内12地区に設置され、当該地区の市民や団体で、賛同したものにより構成される協議会

**自治会** + **その他活動団体**

同じ地域で暮らす  
方々で構成される  
住民自治組織

- ・子ども会
- ・老人クラブ
- ・社会体育振興会
- ・PTA
- ・消防団 など



事業名	飯塚市まちづくり協議会活動推進事業
総事業費	35,527,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

自治会をはじめとする様々な団体で構成される地域コミュニティ組織「まちづくり協議会」は、市内12地区に設立されています。

まちづくり協議会は、飯塚市協働のまちづくり推進条例において重要な地域活動団体と位置付けられており、それぞれの地域の課題解決のために自ら作成した事業計画を基に、防災、防犯、環境、福祉など各種事業に取り組んでおり、市は、「まちづくり協議会」の活動を支援しています。

### 《取組プロジェクト》

まちづくり協議会の組織活性化及び地域の課題を地域で解決するような活動の推進を図ることを目的として、市より財政的及び人的支援を行っています。



### 《特徴その1 まちづくり協議会補助金》

まちづくり協議会が策定する、まちづくり計画に基づき実施される、地域活性化や地域課題解決に向けた幅広い事業に対して、補助金を交付しています。

その交付金は、地域のイベントをはじめとしたさまざまな事業に活用されています。

### 《特徴その2 地域活動の拠点及び人的支援》

本市では、まちづくり協議会や自治会を中心とした地域コミュニティが、それぞれの地域の特色を活かしたまちづくりを進めていくことを支援しています。

地域コミュニティの拠点として、飯塚市内12地区に「交流センター」があり、地域のまちづくりを支援する職員が配置されています。

# いづか健幸ポイント ～誰でも 気軽に 楽しめる！ 広げよう「健幸」の輪！～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

例えば、こんな健康づくりでポイントがもらえます



体重や筋肉量を  
適正に

月1回測定をする事で  
体の変化に気づき、やる  
気アップ！



検診を受診

市の集団検診(がん検  
診・特定健診)、職場の  
健康診断や人間ドック  
、歯科検診、妊婦健診な  
どを受診する。



健康づくり  
教室に参加

市の個別運動プログラ  
ム教室等の各種健康教  
室に参加する。



歩数を増やす

歩く歩数を一定以上増  
やしたり、推奨歩数を  
維持するなど。



活動量計



アプリ

年間最大5,000ポイントをゲット！



事業名	健幸ポイント事業 (ヘルスケアプロジェクト)
総事業費	88,102,000円 (令和5年度) (51,237,000円)

### 《事業概要》

ICTを活用し歩数計測を中心にさまざまな健康づくりに取り組んでいただくサービスです。活動に応じポイントがたまり、事業終了時に最大5,000円相当の景品に交換できます。運動不足の解消により生活習慣病を予防し、若年者層に多い「メタボ予防」や、高齢者層での「フレイル」「ロコモティブシンドローム」予防への効果が期待できます。健康づくりへの積極的な参加と行動変容を促し、医療費の削減を目指します。

### 《取組プロジェクト》

- ICT活用の大規模健幸ポイント事業
- リビング・ラボ事業
- 連携交流サミット事業



飯塚市公式ホームページ  
「いづか健幸ポイント」



からだカルテ



### 《特徴その1 健康づくりでの効果》

事業に参加することで、実際の行動変容、ヘルスリテラシーの向上などを図ります。過去2年の事業でも効果が得られました。

- ・歩数を意識して歩くようになった方の割合 約80.9%
- ・歩数の増加(事業開始から2カ月間) 約3,000歩

### 《特徴その2 誰でも 気軽に 楽しめる》

事業は「測る」→「分かる」→「気づく」→「変わる」のサイクルで実践するプログラムです。どなたでも、無理なく健幸生活の習慣化ができ、参加者からは「誰でも」「気軽に」「楽しめる」運動として続けることができると好評です。

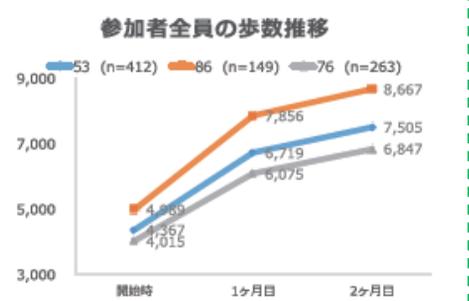


図1 《特徴その1 健康づくりでの効果》



図2 《サイクル》

# 飯塚新人音楽コンクール運営事業 ～市民組織が支え育てる新人演奏家の登竜門～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	飯塚新人音楽コンクール運営事業
市の事業費	1,064,000円（令和5年度）
全体の事業費	9,365,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

優れた新進演奏家の発掘育成と地域音楽文化の充実を図るため昭和57年からスタートし、今年度で42回目の開催となります。ピアノと声楽の2部門で構成され、毎年5月に予選、6月に本選を開催します。市民ボランティアによる心温かいきめ細やかな運営や市民組織「飯塚新人音楽コンクールを育てる会」によって財政基盤が支えられる等、市民の力によって成長を続け、現在ではわが国におけるクラシック部門の新人演奏家の登竜門として定着しています。

### 《ふるさとイベント大賞を受賞》

全国各地の催し物の中から、創意と工夫にあふれ、地域活性化に貢献しているイベントに贈られる「ふるさとイベント大賞」で平成29年度に優秀賞を受賞しました。市民ボランティアが運営を支え、地域に根付いたイベントとして音楽文化の振興に寄与している点が評価されました。



### 《特徴その1 きめ細やかな運営》

前日・当日のリハーサル会場の提供や、出場者が演奏に集中するためのサポート、録音CDの贈呈、審査員による個人への講評等、他のコンクールには見られないきめ細やかで温かい運営が出場者から大変好評を得ています。

### 《特徴その2 市民によるコンクール》

市民組織である「飯塚新人音楽コンクールを育てる会」によって財政の基盤が支えられ、開催当日は多くの市民ボランティアによって運営がなされています。市民の力がコンクールを堅実に定着させる大きな原動力になっています。

### 《特徴その3 新人音楽コンクールを巣立った演奏家が大活躍》

第1回大賞受賞者大野徹也氏は日本のオペラ界中堅の第一人者として、第5回大賞岡崎由美氏はピアニスト司会者としてテレビ等で活躍しています。また、第10回声楽部門1位佐藤美枝子氏は1998年のチャイコフスキー国際コンクールで優勝を果たされるなど、多くの出場者が優れた演奏家として国内外へ羽ばたいています。



# 文化会館改修事業

～未来へつなごう文化のバトン これからも地域文化の拠点であり続けるために～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	文化会館改修事業
総事業費	674,278,000円（令和5年度） (670,184,000円)

### 《事業概要》

飯塚市文化会館（飯塚コスモスモン）は飯塚市の文化芸術の活動拠点として市民文化の向上と市民福祉の増進を図る目的で設置されており、鑑賞事業、参加育成事業、出前講座事業等を行い良質な文化芸術活動の振興を図っています。また、成人式や教育機関の入学式の会場等として、様々な用途で活用されており、本市の公共施設の中心的な役割を担っています。今後も本市における文化振興をさらに推進・発展させるために大ホール・中ホール等の各種設備の取替え、耐震基準に適合した天井改修等の大規模改修工事を行い安全にかつ安心して利用できる文化活動の拠点整備を行います。

### 《取組プロジェクト》

建設から30年以上経過している飯塚市文化会館の施設・設備の改修工事を実施

（パッケージエアコン改修工事、大ホール・中ホール等特定天井耐震改修工事、施設設備等機能維持に係る改修工事）



### 《特徴その1 3つのホール》

用途により活用できる3つのホールを保有し筑豊地区の代表的なホールとして幅広く活用されています。

大ホール：クラシックコンサート、吹奏楽、演劇、講演会

中ホール：コンサート、演劇、講演会、発表会

展示ホール：展示会、発表会、講演会、大きな会議

### 《特徴その2 優れた音響効果》

2つのホール（大・中ホール）は優れた音響性能を備え、飯塚新人音楽コンクール、クラシックコンサート等の会場として利用され、演奏家や聴衆からも高い評価を得ています。

### 《特徴その3 最高のピアノ》

コンサートグランドピアノの頂点と言われるスタインウェイピアノを2台保有しています。ホールの音響との組み合わせにより最高の音色を提供しています。



# 飯塚市デジタルミュージアム整備事業 ～子へ孫へつなごう！ふるさとの歴史・文化～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	飯塚市デジタルミュージアム整備事業
総事業費	2,111,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

本市のまちづくり推進や郷土愛醸成のため、地域資源を活用し、観光・文化振興および学校教育等の連携に戦略的に取り組むものです。市内文化財のデジタルアーカイブ化を行い資料の保存を行うとともに、デジタル資料をインターネット上に公開し文化財の情報発信、飯塚市歴史資料館・旧伊藤伝右衛門邸等への誘客に繋がります。インターネット上での公開のため、遠方にお住まいの方でも手近に飯塚市の文化財に関する情報を確認することができます。

### 《取組プロジェクト》

- 収蔵品のデジタルアーカイブ、遺跡情報システムの構築
- 旧伊藤邸の建物・庭園を歩き回ることができる3Dパノラマビューコンテンツの整備
- 「炭都の記憶」データベース（古写真アーカイブ）の整備活用
- STEAM教育ページの整備



アクセス  
してみ  
てね♪



### 《特徴その1 三次元画像》

国の重要文化財に指定される立岩堀田遺跡の出土品を、三次元画像で公開しています。画像を回転させて、展示では見られない資料の裏側を見ることができます。

### 《特徴その2 遺跡の分布状況と解説》

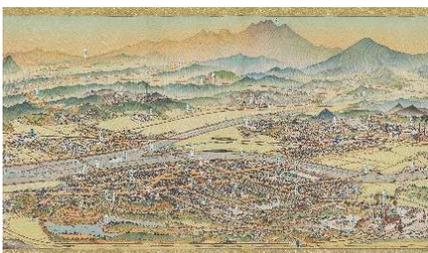
市内の約600か所の遺跡の分布を標準地図・航空写真（現在・1970年代）から確認できます。うち主要な遺跡48地点は、関連画像と詳説も見ることができます。

### 《特徴その3 3Dパノラマビュー》

旧伊藤伝右衛門邸を舞台に、ウォークスルーだけでなく、ドールハウスビュー（3Dモデル）や平面図モード。普段見ることができない画像や、庭園では春夏秋冬の魅力を伝える画像を見ることができます。

### 《今後の計画》

古写真アーカイブを活用した「いつかの記憶」（新旧写真比較ワークシート）の公開やSTEAM教育ページを整備予定です。



# 旧伊藤伝右衛門邸保存整備事業 ～大切に保存しよう ふるさとの歴史遺産～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	旧伊藤伝右衛門邸保存整備事業
総事業費	337,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

旧伊藤伝右衛門邸は市所有の国指定重要文化財（令和2年指定）・国指定名勝（平成23年指定）です。平成19年4月より一般公開を開始し、令和5年3月末現在で150万人余りの方が来館されました。

本事業は、貴重な文化財を後世に伝えていくため、適切に邸宅及び庭園を保存整備します。

### 《取組プロジェクト》

建物は最も古い箇所でも100年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況で、屋根、床等全体的に環境整備、保存整備を実施します。庭園の維持管理については講師を招聘し、毎年管理委託業者へ講習を開催しています。



### 《特徴その1 旧伊藤伝右衛門邸の魅力》

筑豊を代表する炭鉱経営者の伊藤伝右衛門は明治後期から昭和初期にかけて大規模な庭園を伴う本邸をつくりました。近代和風建築の技術の粋が結集された建築物です。矢羽根天井や欄間、襖の引手などに多様な趣深い意匠が施されています。また、応接室はアールヌーボーのマンテルピースやステンドグラスなど洋風を積極的に取り入れています。

### 《特徴その2 国指定名勝である庭園の魅力》

庭園は玄関前の広場、建物に囲まれた中庭、敷地の北半を占める主庭で構成されています。特に主庭は池を配した広大な回遊式庭園となっており、池に架かる太鼓橋や噴水、石灯籠、四阿などが配られています。2階の柳原白蓮の居室からは優美な主庭全体を一望することができます。

# 多くの芸能人が愛した筑豊の芝居小屋 『嘉穂劇場』の再興を応援してください。

## 基本目標3 次代を牽引する魅力あふれるまちづくり



事業名	嘉穂劇場保存整備事業
総事業費	24,215,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

幾多の困難を乗り越え、1931（昭和6）年2月に炭坑で汗を流す人々の唯一の娯楽場として再建された嘉穂劇場。江戸時代の歌舞伎様式を伝える木造2階建ての入母屋造の純和風様式の劇場は、今日まで民間の方の熱い思いの中で守られ、数多くの名優の来援を得て、歌舞伎から歌謡ショー、プロレスに至るまで各種興行が続けられてきました。2003（平成15）年7月に福岡県北部豪雨によって壊滅的な被害を受けた中でも、芸能関係者や一般市民からの大きな支援・協力によって1年足らずで復旧を果たした劇場です。しかしながら、2019（令和元）年末に発生した新型コロナウイルス感染症は劇場運営に大きな打撃を与え、多額な費用が想定される施設の老朽化対応も民間レベルでは困難と判断され、2021（令和3）年に嘉穂劇場は飯塚市に贈与されました。

### 《取組プロジェクト》

嘉穂劇場は2006（平成18）年11月に国登録有形文化財となった歴史的建造物です。劇場運営と文化財としての保存と活用という視点に加え、新たなエンターテインメント機能を持たせた施設として活用することについて検討するため、2021（令和3）年度に有識者からなる委員会を設置し、検討を始めました。再開・活用之际には、大規模な施設・設備の改修を見込んでいます。



### 《特徴その1 当時のままの芝居小屋》

現在休館中の嘉穂劇場ですが、桝席、棧敷席などの造りも当時のまま。廻舞台をはじめとする舞台装置も手動です。

### 《特徴その2 芝居小屋の規模としては最大》

建築面積 1144.43㎡、延床面積 1513.71㎡  
 舞台間口 16.66m、奥行き 17.47m、廻舞台 直径15.70m  
 舞台も大きく、収容人数が1200人と全国の芝居小屋の中でも規模の大きい施設です。

### 《特徴その3 90年以上も現役を継続》

90年以上の間、個人とNPO法人により運営を続けてきた嘉穂劇場。多くの人々の支えで建物を維持し劇場経営を行っていましたが、建物の老朽化には抗えず、施設機能は限界に近づいています。

# 誰もがデジタル化の恩恵を受けられる飯塚市へ！！ デジタルデバイド対策事業へ応援をお願いします！！

## 基本目標Ⅲ 「時代を牽引する魅力あふれるまちづくり」の実現



事業名	デジタルデバイド対策事業
総事業費	16,448,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

誰もがデジタル化の恩恵を受けられる飯塚市を目指すため、デジタル活用に不安のある高齢者等に対し、スマートフォンの操作方法に関する助言や相談等を主な内容とするスマートフォン教室を、身近な交流センター等で開催します。

誰もが参加しやすい環境でスマートフォンの操作方法を習得する機会を提供し、受講に伴い初めてスマートフォンを取得される高齢者に対しては、取得奨励補助金を交付して市内のデジタル化を推進します。

### 《取組プロジェクト》

- ・対面式でのスマートフォンの操作方法等の教室を開催
- ・交流センター等市民の身近な場所で開催し集客を図る
- ・市の公式SNS等の操作方法を覚え防災情報など収集力アップ
- ・初めてスマートフォンを取得する高齢者に対する補助金の交付



### 《特徴その1 受講料無料》

誰もがデジタルの恩恵を受けられることを目的としており、多くの市民がデジタルの恩恵を受けられるよう、教室受講に関して受講料は徴収せず、誰もが参加しやすい環境で提供。

### 《特徴その2 スマートフォンがなくても受講可能》

デジタル不得手の方は、依然、ガラケーの使用率が高く、スマートフォンを持っていない方が多数。そのような方でも気兼ねなく受講できるよう、貸出端末を準備し実際にスマートフォン操作を体験することが可能。

### 《特徴その3 スマートフォンの購入支援》

本教室を受講しスマートフォンを手にした高齢者については、受講証明書にて、スマートフォン取得奨励補助金を交付。なお、市内のキャリアショップとも連携しており、ショップ開催のスマホ講座を受講した高齢者に対しても同様の受講証明書を交付。

# 世代を問わず楽しめるグラウンドゴルフ場を！

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	グラウンドゴルフ場整備事業
総事業費	592,374,000円（令和5年度）

### 《事業概要》

本市の「いづか健幸都市基本計画」に基づき、子どもから高齢者まで手軽に楽しむことができ、健康づくりにも有効といわれているグラウンドゴルフ専用の施設を建設するものです。



### 《取組プロジェクト》

【令和5年度】

グラウンドゴルフ場整備工事等

### 《特徴》

グラウンドゴルフは子どもから高齢者まで手軽に楽しむことができるスポーツであり、特に高齢者には人気の高いスポーツとなっております。本市においても、グラウンドゴルフ人気は高まっており、定期的な大会も開催されています。しかし、他スポーツとのグラウンドの共用、小・中学校のグラウンド利用のため、他地区との交流など大規模なグラウンドゴルフ大会の開催は困難な状況です。以上のことから、多くの市民が集い、交流が可能となるグラウンドゴルフ場を整備するものです。

# 福岡に移住するなら飯塚移住計画！ 飯塚市筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	飯塚市筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度
総事業費	150,700,000円（令和5年度） (61,650,000円)

### 《事業概要》

本市では、筑豊地域外から本市への移住・定住を図るため、本市に居住用の住宅（新築・中古を問わない）を取得した筑豊地域外(飯塚市、直方市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町以外)からの移住者の方に対して奨励金を交付しています。

### 《交付対象者及び補助対象となる住宅の要件（主なもの）》

- 令和2年4月1日以後住宅取得の契約をし、その住宅に居住する方
- 転入後3年以内に住宅を取得する契約をした方
- 転入前3年以上筑豊地域外に居住していた方
- 取得後もしくは転居後1年を経過していない住宅

※その他要件あり

### 《特徴その1 基本額》

基本額 **100万円** + 子ども加算 **10万円** × 人数

- 子ども加算は、世帯員に満15歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者（申請者の2親等内の親族に限る。）が含まれている場合に加算されます。
  - 奨励金の合計額は、購入費（消費税を除く）が上限です。
- ※改修補助金の交付を受けている場合は、合計額に改修補助金も含まれます。

### 《特徴その2 定住促進住宅改修補助金制度との併用可能》

#### ★飯塚市定住促進住宅改修補助金制度とは

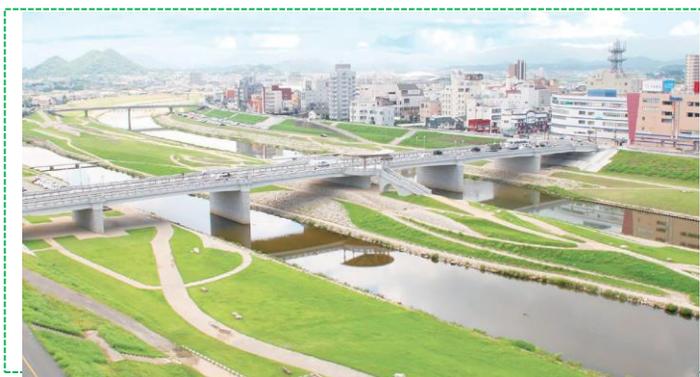
本市では、快適な住環境の整備及び中古住宅を活用した定住化の促進を図るため、飯塚市内の施工業者によって市内の住宅（所有者自ら居住する住宅及び居住する予定の住宅）の改修を行う場合に、経費の一部を補助金として交付しています。

基本額 **8万円** + 子ども加算 **2万円** × 人数

- 対象工事金額（消費税を除く）×1/10（千円未満端数切捨て）
- ※ただし、当該金額が8万円を超えるときは上限8万円
- 子ども加算の条件は、移住者住宅取得奨励金制度と同様

# 移住するなら、飯塚市へ！

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	移住支援事業
総事業費	6,401,000円(令和5年度) (1,601,000円)

### 《事業概要》

飯塚市への定住促進と中小企業等における人手不足解消のため、三大都市圏※（一部、条件に応じて福岡県外）から移住した方に対して移住支援金を交付する事業を行っています。

※三大都市圏とは、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）、名古屋圏（愛知県、岐阜県、三重県）、大阪圏（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）を指します。

### 《支援内容》

- 単身者は60万円
  - 世帯は100万円
  - ◎18歳未満の子ども1人あたり100万円加算
- ※対象となる方には条件があります。



### 《その他① 筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度》

市内に住宅を取得する移住者に対し、経費の一部を奨励金として交付します。

基本額100万円＋子ども加算10万円（年齢等要件あり）

### 《その他② 戸建て中古住宅取得補助金制度》

中古住宅の購入をする者に対し、経費の一部を補助金として交付します。

購入費の1割(最大30万円)＋子ども加算10万円（年齢等要件あり）

### 《その他③ 定住促進住宅改修補助金制度》

市民が市内施工業者によって住宅の改修工事を行う場合に、経費の一部を補助金として交付します。

基本額8万円＋子ども加算2万円（年齢等要件あり）

### 《その他④ 浄化槽設置整備事業補助金制度》

個人が居住する住宅に浄化槽を設置する場合、設置費用の一部を助成します。

※①～④について、対象となる方には条件があります。